

## 2025年度 シラバス&レクシンプラン

科目 世界の観光地理 I
学科 国際観光ビジネス訪日科

講師 米田浩三				
学年 2年				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">前期</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>後期</td> <td></td> </tr> </table>	前期	○	後期	
前期	○			
後期				

提出 25年 1月 12日						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">授業の方法</td> <td style="width: 50%;">講義</td> </tr> <tr> <td>講義時限数</td> <td style="text-align: center;">15</td> </tr> <tr> <td>単位数</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </table>	授業の方法	講義	講義時限数	15	単位数	2
授業の方法	講義					
講義時限数	15					
単位数	2					

<講義目的> この教科を学び、どのような力・知識が身に付くのか。

海外の主要国の地理・観光資源・文化・歴史・名物料理等について学ぶ。社会に出た後訪日外国人と出会う機会が多くなるが、彼らの国の事を知っていることで話題が広がり良い関係を築くことが出来る。日本だけでなく世界に興味を持ってもらうきっかけにもなる。

<講義概要>

P.Pointで作成した世界の観光資源の画像を見ながら歴史的背景を交えて解説。前期はヨーロッパ各国の説明を行う。

<授業の進め方>

- 講義  
  グループワーク  
  実技・演習  
  フィールドワーク  
  実習  
 その他( )

<授業計画全体における講義・演習・実習の割合>

講義 100 % 演習 % 実習 %

<到達目標レベル(何を、どのレベルに)>

P.Pointで作成した世界の観光資源の画像を見ながら歴史的背景を交えて解説

<レクシンプラン(時限ごとの項目スケジュール概要)>

回	授業計画	テキスト・使用資料その他	学生PC利用
1	授業の進め方と初回(英国)の説明	講師作成のP.point と教科書	<input type="checkbox"/>
2	ベルギー・オランダ	講師作成のP.point と教科書	<input type="checkbox"/>
3	北欧諸国	講師作成のP.point と教科書	<input type="checkbox"/>
4	ドイツ・スイス	講師作成のP.point と教科書	<input type="checkbox"/>
5	オーストリア	講師作成のP.point と教科書	<input type="checkbox"/>
6	フランス・パリ	講師作成のP.point と教科書	<input type="checkbox"/>
7	フランス郊外・モナコ	講師作成のP.point と教科書	<input type="checkbox"/>
8	イタリア ローマ パチカン	講師作成のP.point と教科書	<input type="checkbox"/>
9	イタリア フィレンツェ ミラノ ヴェネチア	講師作成のP.point と教科書	<input type="checkbox"/>
10	スペイン	講師作成のP.point と教科書	<input type="checkbox"/>
11	ポルトガル ギリシャ	講師作成のP.point と教科書	<input type="checkbox"/>
12	東欧諸国	講師作成のP.point と教科書	<input type="checkbox"/>
13	ロシア	講師作成のP.point と教科書	<input type="checkbox"/>
14	まとめ	講師作成のP.point と教科書	<input type="checkbox"/>
15	まとめ	講師作成のP.point と教科書	<input type="checkbox"/>

<授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)>

地名がカタカナ表記で毎年覚えるのに苦労している学生が多いので、毎回これだけは覚えておいて貰いたい地名10ヶ所を宿題で覚えて来てもらう。

<成績評価方法・基準>

- 試験と評価方法**
 試験期間中 評価  
  筆記試験( 90 %)  
  小テスト(   % )  
  レポート(   % )  
  その他(   % )  
 講義時限内  
 → 受講態度もあるので「講義時限内」も 要  
  作品(   % )  
 ↓ (   )

<教員紹介>

海外専門旅行会社で添乗員とヨーロッパとオセアニア地域のツアー・プランナーを経験し、ジュネーブ・ロンドン・シドニーでの海外駐在経験があり旅行業界での経験・知識を紹介しながら授業を行います。